

最新ニュースをお届けします！



No.209

「にんじんすくい」はじまります♪

今年も夏休みの目玉イベント「にんじんすくい」開催します♪
より多くの子どもたちにお祭り気分を味わってもらおうとはじめた企画で、今年で3年目となります。ありがたいことにお子さまから大人の方まで、楽しく参加してくれています。

小さなお子さまはパパやママの手をかりながら…、大人の方は試行錯誤しながら本気で…、家族みんなで楽しむのもお友達同士で参加するのもOKです！！期間・曜日限定のお得なスペシャルな企画です★

- 期間 8月の火曜日・木曜日 ※お盆時期の週は13日(水)の1日限りとなります。
■時間 10:00~13:00 ※なくなり次第終了または、動物の体調不良により中止する場合があります。
■場所 なかよし動物園
■料金 1スコップ 500円 ※にんじんすくい開催日は、平日限定「ビックパック 500円」はお休みとなります

【問い合わせ】栗山公園案内所 ☎ 72-0706
指定管理者 株式会社たかはしダリア

【最新情報を簡単アクセス】
★栗山公園公式ホームページ
<http://t-daria.com/parktop/index.html>



スコップに盛って、片手でバケツに入れるだけ！



何本すくえるかな？

南空知消費生活相談室です！

＼相談室の専用電話ができました！／
☎ 73-7516 ➡ ☎ 76-9550

事例

今月のテーマ「その販売業者大丈夫ですか？」

1. 動画サイトの広告を見て商品を代引きで注文したが、届いた品物は粗悪品で使い物にならない。
2. 携帯電話で流れてきた広告を見て注文したが、当初の金額と代引時の請求金額が異なり、倍以上になっていた。
3. 届いた商品が粗悪品だったので、返品窓口へ何十回も連絡したが、まったく連絡がつかなかった。

POINT!

消費者へのアドバイス「トラブルにあわないために」

下記のことに注意してネットショッピングを利用しましょう。

- しっかりとしたプラットフォームの販売業者かどうか確かめてから購入するようにしましょう。
- 配達伝票と申し込みにかかる特約や返品規約は、捨てずに大切に保管しておきましょう。

【相談日】

毎週 月～金曜日（祝日除く） 8:30～17:15（商工観光課内 ☎ 76-9550）
※上記の曜日以外の相談は、消費者ホットライン「188（いやや）」へ

No.37

栗山高校・三冊の記念誌

栗山高校（栗高）には、今の全日制の普通科のほかにかつては定時制普通科と専門学科の定時制農業科、全日制家政科の三つの科があったのをご存知でしょうか。
栗高の歴史を辿ると村立の栗山高等女学校（栗山高女）が道立の栗山高等学校に移管されたのが昭和23年、当初は全日制普通科のみの高校として開校しています。その後、地元の要望で昭和25年に定時制普通科が、また昭和27年に農業科が開設され、さらに昭和30年には、栗山高女の伝統を受け継いだ家政科も設置されました。

の定時制課程と専門学科はその数を減らしています。栗高でも昭和60年に定時制普通科が閉科、その翌年に農業科、平成4年には家政科が、それぞれ惜しまれながら科の歴史を閉じました。
書名に「ともしび」「想」「四つ葉」と題された、三冊の記念誌があります。この栗高にあった三つの学科の歩みを記録した冊子でした。
今も校庭にある「少女の像」は定時制課程の閉科記念に贈られたものです。



栗高閉科記念誌

町史の隠れ家

町史資料調査室・研究員／青木 隆夫

栗山の知られざる歴史へ、今ここに蘇る

YouTubeで歴史コンテンツ公開中！



町史資料調査室
☎ 76-7820

移住Cコシモトの

栗山移住 こしょこしょ話♪



気づけば毎年同じような場所で写真を撮っています。

栗山町移住コーディネーター

文：腰本 江里沙

（通称：移住Cコシモト）

たまにエモい投稿もあると噂のインスタグラムもチェック！



第8話「名もなきわびさび」

栗山にも夏到来。移住を考えている人たちがふらっと役場に現れ、移住相談対応や町内を案内することが増える季節でもあります。

もともと町外出身である私にとって、いたるところで見かける栗山の景色は物珍しくもあり、心を奪われることが多々あります。初夏の頃はやはりじゃがいも畑。丘陵地帯に白い花が咲き乱れる光景の美しさは、パッチワークの丘で有名な某町に勝るとも劣らないのではないかと密かに思っており、ご案内するときにもそのようにお伝えしています。案外共感してもらえることが多く、「これは案内

してもらわなければ見ることはできませんでした！」と車内で盛り上がりたりもします。

私は農作業は苦手ですが、農業がある風景がとても好きです。規則正しく作物が植えられ、風が吹くと波を打つように葉や穂が揺れる。トラクターがゆっくりと往来し、広い畑の中を人々がぼつりぼつりと作業している姿を、絵になるなあといぼんやり眺めてしまいます。

「北海道に移住するには冬の様子を知らない…」と言いつつも、やはり夏の栗山もいいんだよね…としみじみ思うのでした。